

Jabra GN



新時代の「ハイブリッドオフィス」の実現に最適！ 会議がはかどる共創空間づくりや、フリーアドレス化など 新しい働き方を支える会議用デバイス

イノベーション・サービス・プロバイダーとして、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)対応や競争力強化などを担う都築電気。自らも2020年7月から新しいオフィスとのあり方と働き方を検討し、2021年8月に新オフィスが完成。その新しいオフィスに導入されているのが、Jabraの各種会議用デバイスだ。

ABW型にオフィスを大幅リニューアル 使い勝手の良さやラインナップが導入の決め手

「新オフィスのコンセプトは『SODA!』。泡のようにアイデアが溢れる場所という意味が込められています。仕事する場所を、部署ではなく行動にあわせて選択するActivity Based Working(アクティビティ・ベースド・ワーキング)の考えを取り入れ、働き方から変革しました。テレワークにより出勤率を2割に下げ、全社員のフリーアドレス化で通常座席数を1464席から570席に削減。会議室も37部屋から16部屋に減らし、7フロアあったオフィスを5フロアに減床しました。この大規模なリニューアルに伴い導入したのが、Jabraの会議用デバイスです」

そう語るのは、同社の総務部 副部長 大木さん。実は同社では以前よりJabra製品を愛用しており、大木さんのJabra歴は10年を超えるという。

「2015年頃に受話器型のハンドセットを導入して以来、気づけばJabra一筋(笑)。とはいえ今回の導入にあたっては、各メーカーの製品を取り寄せて比較検討しました。その上で、やっぱりJabraが良いという結論に。音質や画質だけでなく、やりたいことが全て叶う、かゆい所に手が届くような使い勝手の良さが決め手です。また、会議室向けのビデオバーから個人向けのヘッドセットまでラインナップが幅広く、どんな働き方にもフィットする点がハイブリッドな働き方に最適でした!」



Company

Customer : 都築電気株式会社

Website : <https://www.tsuzuki.co.jp/>

Country : 日本

Profile

1932年創立。約100箇所のグループ拠点をもち、約1360名の社員が務める、歴史と実績あるトータルソリューションプロバイダ。2万社を超えるクライアント企業の課題解決を行い、業界を牽引し続けている。近年ではイノベーション・サービス・プロバイダーとして、企業のデジタルトランスフォーメーション対応や競争力強化も担っている。2020年、東証一部上場。2022年に90周年を迎える。

Jabra Solution

Jabra PanaCast 50

■商品番号 [ブラック] 8200-232

[グレイ] 8201-232

■標準価格 ¥159,500(税抜)

Jabra Evolve 30 II

■商品番号 [Mono] 5393-823-309(MS)/5393-829-309(UC)

[Stereo] 5399-823-309(MS)/5399-829-309(UC)

■標準価格 [Mono] ¥9,200(税抜)

[Stereo] ¥9,700(税抜)

Jabra Speak 510

■商品番号 7510-109(MS) / 7510-209(UC)

■標準価格 ¥22,000(税抜)





表情が見えないコミュニケーション不足の環境が 全員が部屋に集まったような「共創空間」に!

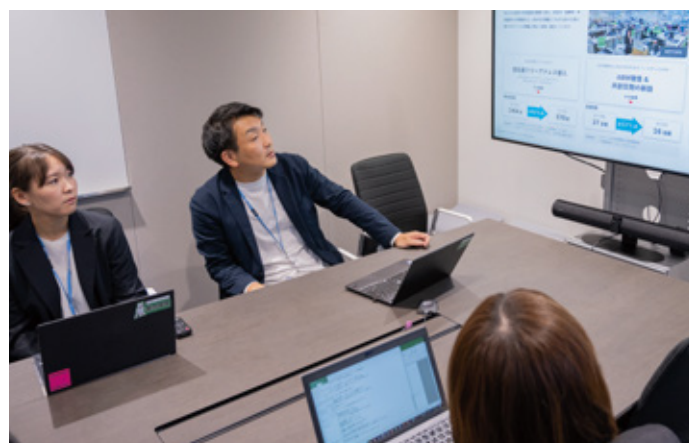
会議室はアイデアを生む「共創空間」だと考える同社。しかし当初は、今ほど創造的な会議はできていなかったという。大木さんは次のように話す。「はじめのうちはカメラをオフにしたままの人が多くいたんです。顔が見えないと反応がわからないので、コミュニケーション不足を感じることも多々ありました。そこで『なるべく顔を出そう!』となり、PanaCastやPanaCast 50を導入。表情の変化や会議室の全体感がよく伝わり、コミュニケーション不足が解消!全員が同じ部屋に集まった時のような感覚で話し合うことができます!」

続けて大木さんは『PanaCast 50』とBARCO (バルコ) から発売されている『ClickShare (クリックシェア)』との組み合わせも絶賛する。

「『ClickShare』があれば、PCと外部モニターがワイヤレスで繋がり、ボタン一つでPC画面を外部モニターに表示できます。PanaCast 50を使いながらも資料をスムーズに共有できるので、会議室にいるメンバーとWEB越しのメンバーが、同じ部屋で一緒に資料を見ているような感覚で会議ができます。またPanaCast 50はMicrosoft Teamsに接続するだけで自動的にTeamsと連携してくれます。WEB会議が当たり前になった今、毎回の準備の手軽さは実際に使っていく上での重要なポイントです!」

※ClickShare (クリックシェア)

BARCO (バルコ) が提供するワイヤレスプレゼンテーション & コンファレンスシステム。子機である「ClickShare ボタン」をPCに挿せば、ボタン一つでPC画面をワイヤレスで別モニターに表示することができる。



フリーアドレスの欠点をヘッドセットが補完! 真の「どこでも集中できるオフィス」が完成!

同社には現在、一人用のWEB会議ブースや、ソファのあるオープンスペースなど、多様な空間が設けられており、フリーアドレスで各々が思い思いの場所で作業やWEB会議をしている。そこで活躍しているのが、Jabraのヘッドセット『Evolve 30 II』だ。

「コロナ禍の当初は、自前のイヤホンマイクやPC内蔵のマイクやスピーカーを使う社員も多く、マイクが拾う騒音が問題になっていました。Jabraのヘッドセットなら周囲の余計な音を拾わないので、周りの声が相手に届く心配がありません。個室のWEB会議ブースはもちろん。オープンスペースでも集中して会議ができます!」

また同社にはスピーカーフォン『Jabra Speak 510』も導入されており、取材時にはちょっとした空きスペースでの打ち合わせに利用されている様子も見て取れた。最後に、大木さんは「オフィスに遊びに来てほしい」と語った。

「都築電気ではオフィス見学大歓迎! PanaCast 50などのJabra製品や都築電気の次世代型オフィスを体験したいという方は、ぜひお気軽にオフィスツアーにご参加ください!」

Jabraの会議用デバイスにより実現した、リアルとWEBが融合したハイブリッドな働き方を叶えるABW型オフィス。新時代の職場環境を、ぜひ実際に体験してほしい。

(詳細は都築電気ホームページをご確認ください)

